



久我山だより

令和7年1月31日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

「節分」と「立春」

副校長 吉川 昇

2月といえば、「節分」と「立春」が思い浮かびます。この二つの行事には、昔からの日本の文化や人々の願いが込められています。

節分は「季節を分ける」という意味をもっています。昔の人たちは、立春、立夏、立秋、立冬の前日を「節分」と呼んでいました。中でも、春の始まりである「立春」の前日は特別な日とされ、悪いもの（厄や災い）を追い払うために豆まきをする習慣が生まれました。「鬼は外、福は内」という掛け声とともに豆を撒きます。豆には「邪気を払って、福を呼ぶ」という願いが込められているからです。

立春は、暦の上では春が始まる日です。まだ寒い日が続きますが、この日を境に少しずつ暖くなり、草花が芽吹き始める季節がやってきます。春の訪れは、何か新しいことが始まるような希望を感じさせてくれます。

子どもたちが、豆まきをするときに「鬼は外、福は内」と言いますが、この「鬼」は、自分の中

の嫌な気持ちや困った出来事を追い払うという意味があります。一年間の節目に、心の中をすっきりさせ、元気いっぱい新しい一歩を踏み出してほしいと思います。またこの行事を通じて、家族や友人と楽しい時間を共有することで絆を深めることもできるでしょう。

そして、立春は春の始まりを告げる日です。自然が少しずつ芽吹き、明るい未来が広がるように、子どもたちにもこれからの目標を考えてほしいと思います。

子どもたち、一人ひとりの中には、たくさんの「可能性」という種が眠っています。その種を育てていくのは私たち教員であり、家庭であり、地域であり、そして何より、子どもたち自身の成長したい、よりよくなりたいという気持ちだと思います。春を待つ植物のようにたくさんのエネルギーと力をため、明るい春を迎える準備を始めてほしいと思います。

校内居場所 ～たんぼぼ教室～

「たんぼぼ教室」は、学校や教室で過ごすことに苦手意識があったり、とても疲れてしまったりするお子さんのための居場所として設置しています。少人数の中での個別学習や、工作など自分の好きな活動をすることで、心のエネルギーをため、教室や学校へ向かうパワーにします。自分と丁寧に向き合いながら、学校での過ごし方を工夫することで、安定した学習環境を作っていけるよう、一緒に考えていきます。「たんぼぼ教室」では、地域のボランティアの方々にご協力いただいて、子どもたちの安全を見守っています。また、たんぼぼ教室以外にも、子どもたちをサポートするSC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)もいます。たんぼぼ教室、SC、SSWに関してのご質問やご相談がありましたら、気軽に担任までお知らせください。

(教育相談コーディネーター 渡部 智紗)